



一学期も残り10日になりました。

先週は、一学期末テストでしたが、生徒の皆さん、できはどうか？早いもので、一学期も残り10日となりました。今週は、3年生は「職場体験学習」、2年生は「土木出前授業」、1年生は「投網体験学習」と行事も多く慌ただしいですが、一学期の振り返りもしっかりして来学期に備えましょう。特に、1年生は小学校と比べ、中学校で学習する内容が多いだけでなく、数学のように負の数の概念を理解することや文字を活用することが求められているため、戸惑った人も多かったのではないのでしょうか。1年生の学習は中学3年間の基礎となります。1年生だけでなく2・3年生も、一学期の学習や生活の振り返りをしっかり行い、7月21日からの「夏休み」を有効に活用してください。今まで以上に成長することを期待しています。頑張ってください。

保護者の皆さま、1学期の生活や学習について気になる点がありましたら、25日～27日に実施する面談でもご相談ください。

なお、学校の評価と評定について、保護者の皆さまにも知っておいていただきたいことがありますので、以下をご確認ください。



《学校の評価・評定に関して》

中学校では、全教科統一して「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」という3つの観点で評価をつけることとなっています。各教科、それぞれの観点をA・B・Cで評価したうえで、最終的に評定(5～1)をつけることとなります。観点別に評価し、その教科の評定をつける際、『十分満足できるものをA』としたうえで、『十分満足できるもののうち、特に程度が高い状況と判断されるものを“5”とする』と国から示されていますので、『A・A・A』であっても、『4』の場合と『5』の場合が出てきます。この点をご理解ください。

※評定とは、各教科の観点別学習状況の評価を総括した数値を示すものです。

例えば、「知識・技能」に関するテストで95点をとって「A」だったとしても、他の観点でBやCがあれば「5」はつきません。また、評価にあたってテストの点は貴重な判断材料ではありますが、生徒の力を総合的に評価することが求められる中で、授業中の態度や意欲、ノートの内容や振り返りの質、各教科の提出物等も貴重な判断材料となっていますのでご理解ください。

特に3年生については、進路に向けて3年生の成績が重視されますので、しっかり取り組んでほしいとも思います。



期末テストの終わった午後はクラスマッチを楽しみました。

各クラスがオセロチームとドッチボールチームに分かれて対戦しました。私は、見るができなかったのですが、先生方から、「いい雰囲気、みんな楽しそうにやっていました。」「みんな頑張って応援していました。盛り上がりました。」と話していました。期末テストが終わった開放感もあったと思います。全校生徒で楽しむことができよかったです。準備や運営をしてくれた体育部の皆さん、ありがとうございます。



【幡多の土木分野を知ろう】出前授業を行っていただきました！

県幡多土木事務所が主催する出前授業を、2年生を対象に実施していただきました。この出前授業は『土木事業に触れてもらい、将来の職業の選択肢の1つとして考えてもらう体験授業』という趣旨で、今年度は県内9市町村の学校で実施されています。授業内容は、「土木事業紹介」（県幡多土木）、「防災学習」（県危機管理部幡多地域本部）、「ミニバックホウ体験」（県建設業協会・中村支部）、「ドローン体験」（県建設業協会・中村支部）でした。各学級が約20分の説明や体験をそれぞれ受けました。ミニバックホウ体験やドローン体験では、少し緊張した様子で操作する生徒が多く見られたように思います。指導してくださった方からは、「女子が思った以上に積極的に操作するのでびっくりしました。」と話していました。2年生の皆さんは、貴重な体験ができてよかったですね。

関係者の皆さま、当日は、とても暑い中、丁寧に指導していただきありがとうございました。



ミニバックホウ



ドローン



土木事業説明

中学2年生の保護者の皆さま「人権教育に関するアンケート」のお願い

高知県教育委員会 人権教育・児童生徒課より、中学2年生とその保護者に「人権教育に関するアンケート」の実施について依頼がありました。生徒は学校で実施していますが、保護者の皆さまのご協力をお願いします。二次元バーコードを読み取っていただき、Googleフォームでご回答ください。（既にテトル等で文書を配布しています。）よろしくをお願いします。

※回答期間は、7月31日（月）17:00までとなっています。



職員室前の七夕飾り